

豊橋市

うめだ さなえ

梅田 早苗 議員



【一般質問】 認知症高齢者及び その家族への支援について

Q 認知症高齢者などの居場所検索への支援を行っているとのことだが、現況について伺う。

A 東三河広域連合では、高齢者等の見守りや行方不明時の居場所確認のため、認知症により行方不明になるおそれがある高齢者等を介護している家族等に対し、GPSを用いた位置情報検索サービスの利用に必要な本体機器の購入費用など、初期費用の一部、1万円を上限として助成している。年度によって多少のばらつきはあるものの、毎年15名前後の方に助成を行っており、令和6年度には、助成に係る上限額をこれまでの5千円から1万円に引き上げるなど、制度の拡充を図っている。

蒲郡市

ひえの かよ

日恵野 佳代 議員



【一般質問】 ヘルパーの高齢化と 事業継続の課題について

Q 東三河広域連合内の訪問介護事業所のヘルパーの年齢構成の現状、ヘルパーの高齢化が事業所運営や利用者に与える影響についての認識及び事業継続が困難であるという現場の声に対する受け止め方について伺う。

A 国の調査によると、訪問介護員については40～59歳が主流である中、訪問介護以外の指定事業所で働く方の主流は30～59歳となっていることから、訪問介護員の高齢化が見て取れる。訪問介護員を始めとした介護人材の高齢化は、東三河広域連合においても、同様の傾向にあると考えており、安定的な介護サービスの提供に大きな影響があるものと認識している。こうした状況を踏まえ、東三河広域連合では民間ノウハウを活用した人材マッチングにより、新たな人材の確保・供給に取り組んでいる。



東三河広域連合議会定例会は8月と2月の年2回開催します。

東三河広域連合ホームページで、本会議の生中継または録画中継をご覧いただけるほか、定例会会議録なども順次公開予定です。

<https://www.east-mikawa.jp/>

東三河広域連合議会 議会報告

8月定例会

東三河広域連合議会8月定例会が8月6日・12日に開かれました。令和6年度決算認定、条例案などが審議され、いずれも原案のとおり認定・可決されました。

【決算認定】

- 令和6年度東三河広域連合一般会計歳入歳出決算
- 令和6年度
東三河広域連合介護保険特別会計歳入歳出決算

【条例】

- 東三河広域連合議会の
個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例
- 東三河広域連合職員の
勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
- 東三河広域連合職員の
育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

【報告】

- 専決処分の報告

田原市

ないとう きくえ

内藤 喜久枝 議員



【一般質問】 介護支援専門員について

Q 法定研修の期間や受講料に係る負担への支援について、令和7年度から愛知県の介護人材資質向上事業費補助金に、市町村・広域連合の負担が生じない補助メニューが追加されたが、現在、広域連合の補助金の対象となっていない更新研修へ活用する考えについて伺う。

A 令和7年4月から、介護人材が不足している状況に鑑み、愛知県の補助事業に介護支援専門員及び主任介護支援専門員の資格取得または更新に係る研修受講料に対する基準額等が一部拡充された。これまで、東三河広域連合独自に資格取得者へ補助を行っているほか、県の補助事業を活用した、介護事業所の管理者向けの研修など様々な取組を行っている。介護人材の確保は喫緊の課題であることから、既存事業も含め、より効果的な支援となるよう取り組んでいく。